

議会だより

No.75

平成22年(2010)
11月15日発行

ごめい

さわやかに歴史と未来の出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター
内くんとエイトちゃん

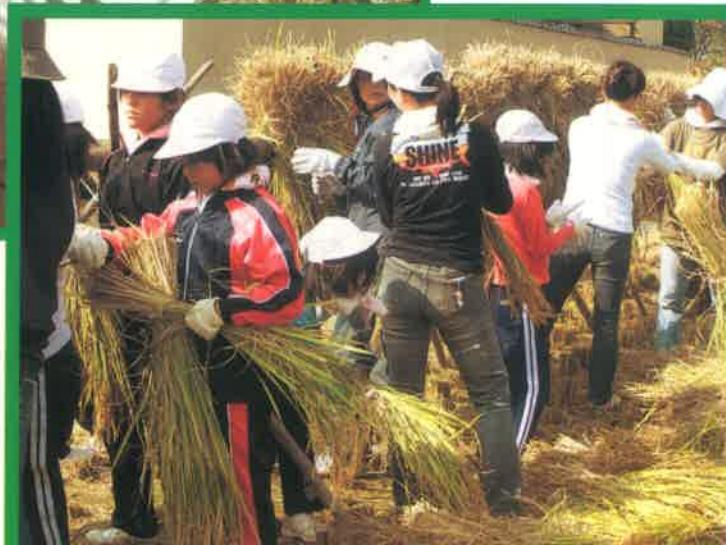
9月定例会

- | | |
|----------------------------|---------|
| 平成21年度の決算を認める | P.2~3 |
| 付託審査報告 | P.4 |
| 委員会報告、補正予算
議員研修会、議会あれこれ | P.5~6 |
| 一般質問 | P.7~10 |
| 変わりゆくわが町 | P.11 |
| 新しい議会構成が決まりました | P.12~13 |
| 郷土・伝統芸能まつり
一響き合う・海と里 | P.14 |



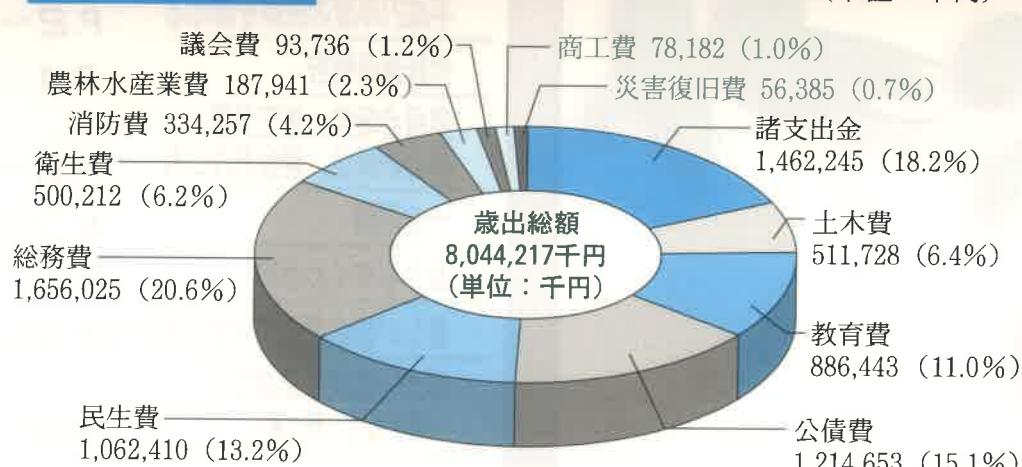
やっと収穫できました

上郡小学校 5年生、大持にて

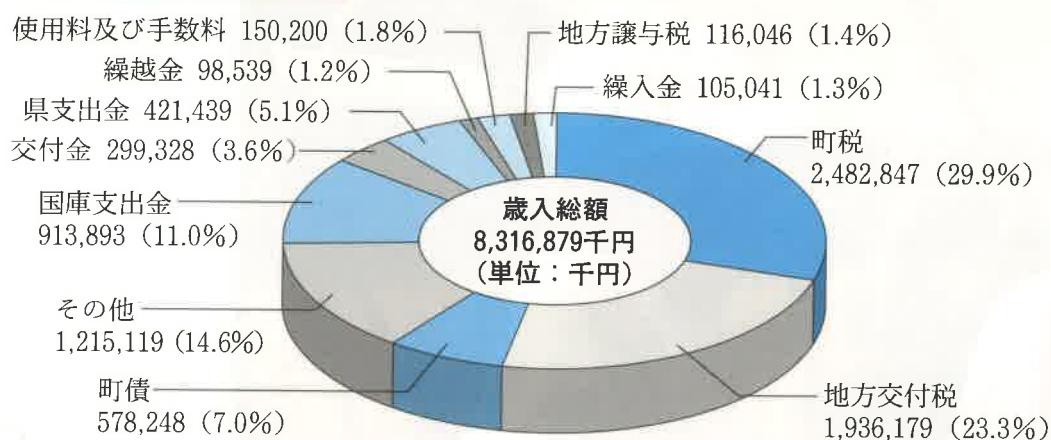


平成21年度の決算を認める

一般会計内訳（歳出）



一般会計内訳（歳入）



* 各数値は、表示単位未満で四捨五入しており、合計において一致しない場合があります。

9月定例会は9月7日から15日まで7日間開催され、諸報告、7名の議員による一般質問に続き、同意1件、承認1件、報告1件、平成21年度一般会計及び特別会計決算認定12件、議案4件、平成22年度一般会計及び特別会計補正予算9件が上程され、慎重審議の結果すべて原案通りに可決した。請願1件は常任委員会に付託され、本会議で可決され國へ意見書を提出することになった。

平成21年度決算

(単位：円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	8,316,878,722	8,044,217,119
特別会計(水道事業除く)	4,846,252,027	4,789,726,436
住宅改修建設資金貸付事業	8,418,803	8,082,249
国民健康保険(事業勘定)	1,751,834,757	1,736,623,022
国民健康保険(直診勘定)	71,792,973	66,776,752
老人保健医療事業	4,079,431	4,079,431
後期高齢者医療事業	200,038,577	200,037,549
介護保険事業	1,375,962,011	1,358,172,521
簡易水道事業	187,476,828	186,707,900
農業集落排水事業	347,651,211	346,623,589
公共下水道事業	834,570,974	822,665,450
公営墓園事業	28,729,280	28,729,102
ケーブルテレビ管理運営事業	35,697,182	31,228,871
水道事業(収益的収入及び支出)	391,598,868	359,521,975
水道事業(資本的収入及び支出)	481,689,343	471,549,751

町の財政、健全化判断比率等は良好

健全化判断比率は、夕張市の破綻を契機として問題になった地方自治体の財政状態の悪化を監視する指標として、総務省が平成20年4月に定めたもの。下表の4つの指標のうち1つが早期健全化基準以上であればその自治体を財政健全化団体と呼び、公表した年度の末日迄に「財政健全化計画」を定めることが求められている。また将来負担比率を除く3つの数値のうち1つでも財政再生基準以上であれば、公表年度の末日迄に「財政再生計画」を定めねばならない。

資金不足比率は公営企業（上郡町では水道事業会計と特別会計の簡易水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の計4会計）の資金不足額が事業の規模（営業収益等）の20%を超えると、経営健全化計画を定めねばならない。

健全化判断比率 (%)

	平成21年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—*	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—*	20.0	40.0
実質公債費比率	17.0**	25.0	35.0
将来負担比率	256.5	350.0	

* 実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載する。

**3ヶ年の平均値

資金不足比率 (%)

	平成21年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—*	20.0
公共下水道事業	—*	20.0
農業集落排水事業	—*	20.0
簡易水道事業	—*	20.0

* 資金不足が生じない場合は、「—」と記載する。

監査委員の意見

○健全化判断比率等

実質赤字比率を表す4指標の数値及び資金不足比率共に良好である。

○一般会計及び特別会計

1. 町税等の未収額は前年より451万7千円減少したが、税の公平負担・財源確保のため悪質滞納者等に対し積極的な滞納処分を進めるなど、一層の努力を図るべき。

2. 不納欠損処分額は町税、国民健康保険税合わせて前年より152万5千円増加した。破産・生活困窮等やむを得ない理由だが早めに手を打ち、不納欠損を回避されたい。

3. 社会教育施設の使用料収入は増加傾向だが、財源確保のため創意工夫し各施設の利

用率向上に努められたい。

4. 扶助費など決算額を把握し難いものもあるが、不用額は節減努力の結果と評価する。

5. 予算流用は法的に認められているが、安易な流用は議会議決の趣旨にそぐわず、必

要最小限度に努められたい。

6. 町有地については、売却用地の洗い出し等を継続し、歳入確保に努められたい。

○水道事業会計

平成22年7月31日現在徴収率は99・33%で未収金は0・17%増加している。健全な運営確保のため、未収金の解消に向け努力されたい。第5次

拡張事業推進のため、今後も健全な財政運営維持に努力するとともに、給水原価が供給単価を上回る状況が続く場合は給水原価に見合う料金への改定の検討も必要。

【賛成討論】

厳しい財政状況の中で地域活性化と定住促進、子育て支援と高齢者の外出支援、安心安全を最重点施策とした取組みで、町民の要望が実現されている。また町債残高を242億円に減じたことを評価す

▼小寺政広 議員

活化と定住促進、子育て支援と高齢者の外出支援、安心安全を最重点施策とした取組みで、町民の要望が実現されている。また町債残高を242億円に減じたことを評価す

平成21年度一般会計決算認定

【反対討論】

▼工藤 崇 議員

一部納得のいかない点を述べる。

1. 町長の200万円の預かり金問題は、町長及び町政への信頼の失墜を招いた。

2. 給食センター実現の公約の不履行の懸念。3. 人口減少・少子化に対し危機感、具

同意案件

教育委員会委員の山本善治

朗氏が平成22年9月30日で任期満了。引続き同氏の選任に同意した。

住 所 上郡町西野山95
氏 名 山本善治朗
生年月日 昭和16年9月5日

総務文教常任委員会 (9月10日開催)

がかり過ぎ、なお一層の努力を望む。

- ・行財政改革の事務事業見直しは、現況では時間がかかり過ぎ、なお一層の努力を望む。

○平成21年度一般会計の決算を認める

当局の決算概要説明の後、監査委員の報告・意見書を参考に歳出歳入決算の係数と帳簿類と証拠書類等の照合を行い、執行の適否確認、基金運用と財産管理の審査を行った。その結果経理は正確に処理され執行も良好であり、認定すべしと全員の意見が一致。

〔意見〕

・遊休地売却では、宅地検討せよ。

・予算流用が目立つ。本来は補正措置が原則であり、流用は極力避けること。

○平成21年度特別会計「ケーブルテレビ管理運営事業」の決算を認める

当局の決算概要の説明の後、監査委員の報告・意見書を参考に歳出歳入決算の係数と帳簿類と証拠書類等の照合を行い、執行の適否確認、基金運用と財産管理の審査を行った。その結果経理は正確に処理され執行も良好であり、認定すべしと全員の意見が一致。

○地方公務員法に合わせ、職員給与の一部控除が条例に明記された

審議の結果、改正は国、県の技術的助言に基づくものであり、改正は順当と全委員の意見が一致した。

○基金を積立て大規模改修に備える

大規模改修の発生に備え、ケーブルテレビ施設等の維持管理の実施にむけ基金積立てを行うための条例制定で、その必要性につき全員の意見が一致した。

〔意見〕

・他会計への繰替え運用や条文の解釈は慎重に行うように。

- 結果採択（賛成9、反対2）となり、国へ意見書を提出することに決した。

○請願書「30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する件」を採択

紹介議員による趣旨説明、兵庫県教職員組合赤穂支部派遣の説明者による補足説明を受けた。

当委員会は慎重審議を経て多数決採決を行った。

〔意見〕

・30人以下学級とすべき量的根拠が乏しい。

・OECD諸国とのGDPに占める教育費割合を引合に出しているが、論理的に結び付かない。

・少人数学級が、子どもが愛情のこもった教育を享受できる環境整備に実際に繋がるか、疑問である。

- 以上慎重審議の結果3案件は採択すべきと、2決算は認定すべきと決した。

民生建設常任委員会 (9月10日開催)

○請願書「30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する件」を採択

○平成21年度特別会計（10事業）の決算を認める

計数及び経理は正確に処理されており、関係諸帳簿等についても的確に整理され、いずれも良好であった。

○住宅改修建設資金貸付事業

昨年、徴収事務等に関して指摘した事項は改善されたが、依然として未収金があるため、引き続き徴収努力を怠らず、国、県への更なる支援要請も視野に入れるなどを申し添えた。

○簡易水道事業

料金の徴収率100%で良好である。

○農業集落排水事業

未収金回収の徹底を申し添えた。

○公共下水道事業

未収金回収の徹底を申し添えた。

○公営墓苑事業

未収金回収の徹底を申し添えた。

○国民健康保険事業

適正な不能欠損の処理と未収金の更なる回収を徹底するよう強く申し添えた。

○老人保健医療事業

特記すべきことなし。

○後期高齢者医療事業

未収金回収の徹底を申し添えた。

・介護保険事業

未収金回収の徹底及び厳格な制度運用をできるように申しあげた。

・水道事業

収益的収支及び資本的収支決算とともに黒字であり、未収金についても、99・3%

の徴収率で前年を上回っており努力の跡がある。

昨年に指摘した貯蔵品の管理についても改善されて

いる。

当委員会は本会計を認定すべきものと決した。

委員会報告

8月26日に総務文教常任委員会が、8月23日に民生建設常任委員会がそれぞれ開催され、各課が行っている事業等の進捗状況などが報告された。

総務文教常任委員会

○あたらしい上郡町地域防災計画の骨子が示される

危険箇所、避難場所、自主防災組織、屋外拡声器の現状を、全自治会に対する意見聴取と現地踏査により把握し、素案策定を進めている。計画の構成は、総則、災害予防計画などの6部構成。素案ができ次第第1回上郡町地域防災会議に諮る予定である。

○学校給食実施への取組み

実施方法につき近隣市町観察、PFI（設計、整備、管理運営まで民間委託）の研修、PFI関連企業へのヒアリング調査を実施。今後事業規模提供手法、事業費算定を行い12月に基本方針を策定する。

〔質疑〕

○事業評価の進展は

今年度に入り評価事業の選定等を行った。今後、第1次

問 PFI方式を採用すると地産地消や地元業者育成にはならないのでは。

答 配食数が少なくPFI方式にはならない。

○地域の交通手段はどうなるか

第2回上郡町公共交通対策協議会で連携計画策定調査コンサルタントの提案説明が行われたこと、町内7地区の公共交通検討懇談会で交通手段利用の現状把握・課題聞き取りを9月中に行うこと、が報告された。今年度後半で連携計画策定までを行い、3月に地域公共交通活性化・再生総合事業の申請を行う予定。



▲ 待たれる完成 金出地ダム

○金出地ダムはどうなるか

国土交通省が平成21年12月に設置した「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の中間取りまとめにもとづき、兵庫県が「金出地ダム検討会議」を立ち上げダム建設の検証を行う。委員11名による検討会議3回を予定。

評価（内部評価）行政改革効果の公表、新年度予算への反映等を町の広報・ホームページ等で公表する。

〔意見〕

平成22年度予算の補正

(単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	6,852,012	108,117	6,960,129	人事異動に伴う人件費補正・議会中継費用・日本脳炎予防接種費用の補正増等
国民健康保険事業会計（事業勘定）	1,766,451	23,304	1,789,755	前年度実績確定及び共済費の増額による補正
国民健康保険事業会計（直診勘定）	71,733	15	71,748	共済費の増額による補正
老人保健医療事業	2,010	18	2,028	前年度実績確定による補正
後期高齢者医療事業	216,086	316	216,402	前年度決算及び共済費の増額による補正
介護保険事業会計	1,271,395	17,941	1,289,336	前年度繰越金確定に伴う補正増等
水道事業会計	1,093,360	74	1,093,434	人件費及び岩木配水池耐震診断委託料の増
簡易水道事業会計	149,291	0	149,291	前年度繰越金の増、消費税の還付による一般会計繰入金の減
農業集落排水事業会計	297,205	30,566	327,771	千種川河川災害復旧等緊急事業に係る事業費の増
公共下水道事業会計	923,561	△ 8,324	915,237	消費税確定計算による減
ケーブルテレビ管理運営事業会計	59,976	11,315	71,291	前年度繰越金及び県事業による支障移転補償に係る補正

民生建設常任委員会

○町外居住者に使用を許可

上郡靈苑 305区画うち1
98区画が使用許可済（使用
率64・9%）で、墓碑建立は
110基。条例改正により町
外から申請が1件あり、使用
を許可した。

○駅前広場最終調整案決まる

駅前広場整備は、地元との
最終調整案が示され、完成は
23年6月の予定との説明を受
け、現地の視察をした。

○駅前広場最終調整案決まる

駅前広場整備は、地元との
最終調整案が示され、完成は
23年6月の予定との説明を受
け、現地の視察をした。

▲ 整備が待たれる駅前広場

○介護保険事業の状況

受診者数 1日当たり41人
1ヶ月当たり885人
診療等収入 1日当たり28万円
1ヶ月当たり587万4千円
黒字経営です。

○前立腺ガン検診増える

町ぐるみ健診では、前立腺



ガン検診で受診者が約100人
増えた。

○災害復旧等関連緊急事業に 係る支障物件

赤松水源地及び楠・河野原
処理場の移転方法を地元と協
議検討中。

○林一二株上郡工場の移転先

候補地として山野里工業団
地は、地盤改良に相当の期間
を要するため、平成24年4月
の移転完了に間に合わない恐
れがあり断念。上郡町（播磨
科学公園都市内分譲地）と相
生市に絞って検討中。

「意見」

町民の雇用継続と税の優遇
措置の延長も検討し慎重に対
応するよう強く申い入れた。

○鞍居診療所の利用状況

平成22年5月末実績

受診者数 1日当たり41人
1ヶ月当たり885人
診療等収入 1日当たり28万円
1ヶ月当たり587万4千円
黒字経営です。

ている。交通の便が悪いこと
や通所サービスが好まれてい
ること、数年前より介護施設
が増えていることによる。

○平成22年度水稻作付状況

水稲作付面積	作付達成率	97・98%	ha
471・547	97・98%	%	ha

議会運営委員研修会

平成22年8月17日（火）神

戸市・ホテル北野プラザにて
開催され、田渕議長、沖委員
長他5名が参加した。「議会

運営委員会の権限と役割につ
いて」という演題で野村 稔
氏（全国都道府県議会議長会
元議事調査部長）が講演した。
研修を受けてあらためて議運
の役割の重要さを確認した。

議員に求められる責務の1
つが執行部（町長をトップと
する町の行政組織）の行う業
務の監視です。町の業務が正
しい方向を向いているかどうか
かを執行部とはちがった角度
から検証し、町民の皆様にお
知らせすることが議員の責任
です。

議会あれこれ

「議員から見た

上郡町の借金返済

議員に求められる責務の1
つが執行部（町長をトップと
する町の行政組織）の行う業
務の監視です。町の業務が正
しい方向を向いているかどうか
かを執行部とはちがった角度
から検証し、町民の皆様にお
知らせすることが議員の責任
です。

次頁の図の「元金返済+利子」
の折線で表されるように年々
増加しています。21年度まで
の5年間の平均は自主財源
(町税収入額) の約76%です。
一方元金をどの位返せている
かを示すのが「元金返済+借
入」です。自治体は財政状況
が悪くても必要な事業は実施
し、新たな借入も生じます。
折線がマイナス側に振れてい
るのは、借入額が元金返済額
を上回っていることを示し、
5年間の合計でも借入が返済

* 「平成21年度決算概要」参
照、町ホームページに掲載

保険料は全国平均より若干
低い。負担額は県平均を上回っ
ています。町が抱える借金（21年度
末で総額約242億円）の返



▲ 議会運営委員会研修会

一般質問



藤本ゆうき 議員

人口減少に対する有効打は

問 日本の総人口は今後一貫して減少していくといわれる。

少子化による若手人材の激減、老人医療費や介護保険給付の増大、現行の社会保障制度を維持するための多大な負担など、人口減少により

町長 生じる様々な問題に町当局はどう対応していくのか。

住促進策を推進し、郷土愛を

豊な自然を生かした定住促進策を推進し、郷土愛を

町長 豊な自然を生かした定住促進策を推進し、郷土愛を

問 将来の負担を考えると「借金を作らない、一円でも多く返す」ことを第一に挙げ

児童虐待等における実態と対策について

問 虐待問題に対応するためには幅広い協力体制の構築が不可欠であり、行政には子供

町長 負担軽減を図る上でも、新しい借金は抑え必要不可欠なものだけに絞っていきたい。また、任意の繰り上げ償還をするための基金積み立てや浮遊財源確保に取り組みたい。

町長 負担軽減を図る上でも、新しい借金は抑え必要不可欠なものだけに絞っていきたい。また、任意の繰り上げ償還をするための基金積み立てや浮遊財源確保に取り組みたい。

町長 負担軽減を図る上でも、新しい借金は抑え必要不可欠なものだけに絞っていきたい。また、任意の繰り上げ償還をするための基金積み立てや浮遊財源確保に取り組みたい。

町長 負担軽減を図る上でも、新しい借金は抑え必要不可欠なものだけに絞っていきたい。また、任意の繰り上げ償還をするための基金積み立てや浮遊財源確保に取り組みたい。

町長 負担軽減を図る上でも、新しい借金は抑え必要不可欠なものだけに絞っていきたい。また、任意の繰り上げ償還をするための基金積み立てや浮遊財源確保に取り組みたい。



▲ 姫路こども家庭センター

9月7日から9月8日までの2日間、7人の議員が一般質問に登壇しました。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問 ここが知りたい！

1番 藤本ゆうき 議員

人口減少に対する有効打は p. 7

2番 工藤 崇 議員

情報を開示し安否確認を p. 8

3番 小寺政広 議員

住民と協働で災害検証を急げ p. 8

4番 阿部 昭 議員

図書館の建設か図書室の拡充を p. 9

5番 井口まさのり 議員

町長が目指す理想の上郡町とは p. 9

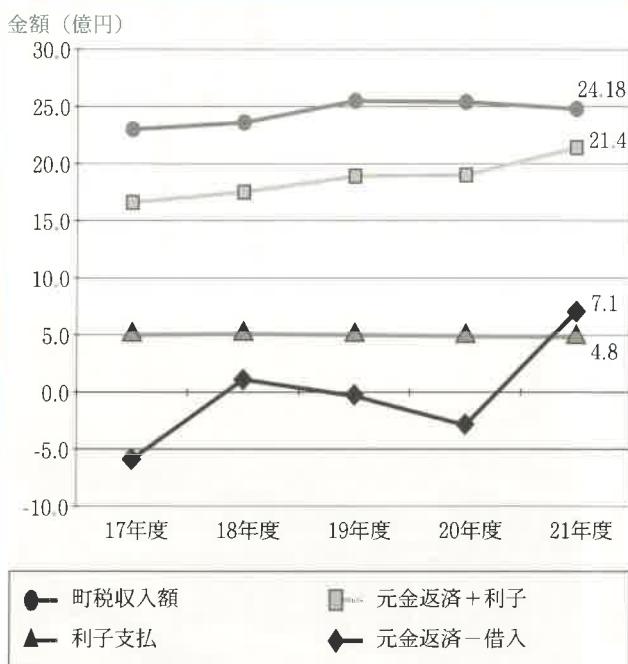
6番 山本守一 議員

行財政改革の機能停止か p. 10

7番 大政正明 議員

計画策定にP D C Aの導入を p. 10

上郡町の借金返済の様子



情報を開示し安否確認を

個人情報の制限を見直す

問 個人情報保護の風潮から上郡町広報でも「お悔やみ、誕生」の掲載が消え、地域でもお年寄り、障がいのある方の安否確認ができるにくい状態である。災害時に町と地域で

弱者救済ができるよう情報開示の見直しを。

工藤 崇 議員



機関間の情報供給方法を示している。今後、条例の個人情報の利用、制限規定の見直しを考えたい。

もお年寄り、障がいのある方の安否確認ができるにくい状態である。災害時に町と地域で

共有化が言われ、国でも関係機関間の情報供給方法を示している。今後、条例の個人情報の利用、制限規定の見直しを考えたい。



小寺政広 議員

住民と協働で災害検証を急げ

アンケート、現地踏査をした

問 佐用町、宍粟市は昨年の県西・北部豪雨災害検証報告を公表したが、町の検証はどうまで来ているのか。

総務課長 全自治会長に防災アンケートを実施、各地区に出向きヒアリングを行い現地踏査した。地域カルテを作成し地域防災計画素案作成の作業を進めている。委員会を設置しての検証ではないが、職員から意見集約をおこなっている。

問 もっと住民の声を入れてほしいとの強い思いだ。

総務課長 自治会長なり、アーリングでも意見があり、十

分に分析して地域に見合った細かな対応ができる防災計画を策定していくたい。

問 上郡町の人口減少率がこのまま続けば今後20年弱で人

おり、実際起きた場合はお願ひすることが必要と考えている。

問 それで住民は納得するか、それが住民が考えた安全か、どこに避難所がいいのか検証が要る。

町長 危ないところに避難という部分もあるので検討する。さらに佐用の事例を踏まえて詳細に検討したい。



▶ 被災地 河野原橋歩道橋

問 子供、保護者の思いを十分にくみ取り、赤松・鞍居幼稚園の統合へ配慮を。

二分にくみ取り、赤松・鞍居幼稚園の統合へ配慮を。



▲ 統合される赤松小学、赤松幼稚園

人口が半減する。行政は若い世代が安心して働き、子育てができる町づくりを急げ。

町長 20年後には町民の半数が高齢者となり、10年後には半数が限界集落になる。

問 町長は人口減少対策を企業誘致、河川改修と言うが、タクシー補助等の交通弱者対策、医療、教育の充実が必要であるが。

町長 公共交通の整備を急ぐ。赤穂市民病院の部屋代、お産（分娩）費用の格差解消、医療の充実を図る。学校給食を平成24年に実施する。

できる町づくりを急げ。

図書館の建設か図書室の拡充をできるだけ早く進めたい



井口まさのり 議員

町長が目指す理想の上郡町とは

25年には何がなんでも給食実現

問 当町の財政状況が厳しい
なか町長は6月定例議会で、
出馬表明をしたが、町長が目
指す理想の上郡町について答
弁お願いする。

町長 上郡町にとっての、大

きな問題としては、人口の減少であり、少子高齢化が著しい中、どのような形で定住促進を進めていくのか、一番眼目になるところであると考えている。又、子供達の食育を推進する学校給食は、上郡町の最重要課題と位置づけており、25年には、何がなんでも開設したいと考えている。

又、非常に大きな問題とし

問 子ども議会で鞍居小学校の今川さんと隱岐さんから図書館の建設か図書室を広くしてほしいとの質問があった。大事な問題だ。兵庫県で図書館の無いのは香美町と本町だけだ。

阿部 昭 議員

答 図書館の整備については重要な懸案事項と考えている。今すぐには答えられないができるだけ早い時期に着工できるような方法を考えたい。現在の図書室の裏の空き地に併設も考えられる。

上郡町の高齢者の所在不明者はゼロ

子宮頸がんワクチン接種の公費助成を

手狭な閲覧室
(上郡町図書室)

問 100歳以上の所在不明者が続出しており全国的に問題となっているが、本町では

答 後期高齢者の方は258人には保険者証を簡易書留で発送し37通が返送された。自宅訪問等ですべて渡した。町内に住民票のある人で確認でききない人の数はゼロだ。

問 厚労省で接種費用の1/3の補助を進めているようないで国や県の指導並びに情報を受けながら対応していきたい。

答 厚労省で接種費用の1/3の補助を進めているようないで国や県の指導並びに情報を受けながら対応していきたい。



定住促進策について、

問 町外で働いている方々の為に、定住促進の一環として、週1回、午後7時までもしくは、土曜日の午前中だけでも、戸籍・住民票の係りだけでも、開庁できないものか要望する。これについては、早急に検討してほしい。



行財政改革の機能停止か

申し訳ない早急に善処する

問 平成22年3月で終了した

改革の成果と課題は。

企画財政課長 改革の効果額等は10月広報で公表予定、課題については内部検証をベ

スに審議会で次期の行政改革

の策定に反映する。

問 集中改革プランの主な11

項目とそのトータル金額だけでなく、232の重点項目の結果も明らかにせよ。

企画財政課長 廃止、検討、未実施と整理した内容を公表する。

問 更に実効性を追求するための今後の方策は。

企画財政課長 職員の行革検

山本守一 議員

計画策定にP D C Aの導入を

それを踏まえていきたい

問 水防計画、地域防災計画、総合計画、都市計画等は年限があり更新が繰り返されたが、

その際にP D C Aが適用されず更新された。近頃公表された水防計画に昨年の9月議会

で指摘した避難情報伝達が欠落している。この点をどう考えたか。

住民課長 現段階では現場で働く消防分団長にお話をした。

問 新計画に問題あると思わなかつたか。

副町長 今後防災会議に諮り、県と協議したい。

問 昨年の議会で言つたことが実現されていないが。

町長 無視したのではなく、それを入れようとしている。

問 町の規則でうたう実施計画はなく、当局の事業計画はそれに代わるものではないが。

企画財政課長 策定する後期



大政正明 議員

防災会議にも諮っていない。な手続きは。

住民課長 計画の変更はせず

総務課長 地域防災計画の素

討委員で検証し、次の計画を策定する。

問 有識者による行財政組織等審議会の提言を受けて、行

革推進本部が審議会と一体になり改革を推進すると大綱に謳われている。審議会の運営はどうなっているのか。

企画財政課長 平成17年7月

第1回審議会を開催、最後の開催は20年8月で、以後審議会を開催していない。

町長 誠に申訳ない、早急に善処する。

企画財政課長 数値目標を設定した4次

計画に続く次期計画策定のためにも、有識者による審議会の役割は大きい。審議会委員に礼を尽くして丁寧な対応を

委員に伝えず任期切れ

して欲しい。町長の姿勢の一端を聞きたい。

町長 うつかりしていた。今は真摯に取組んでいきたい。



問 P D C Aの組込みは。

企画財政課長 5次計画の策定時にCとAを踏まえたい。

問 新計画の町民への啓蒙が必要だと思うが。

総務課長 分かりやすい冊子発行も考えたい。

問 行財政改革大綱



▲ これで大丈夫か？（楠にて）

千種川河川改修工事が、急ピッチで進んでいます。工事の進捗に合わせて、変わりゆく千種川の風景を掲載しています。

変わりゆくわが町



▲ テレビ塔にて



▲ 駒山にて 上郡橋



▲ 駒山にて 旧上郡中学跡地 隅見橋



▲ 役場屋上にて



▲ 上郡一西新宿線 旧上郡中学跡地 (11月1日開通)



▲ 役場屋上にて

臨時会

新しい議会構成が決まりました



正副議長あいさつ

町民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、10月7日の臨時会において、議長、副議長に就任することになり、身に余る光栄と同時に責務の重大さを痛感いたしております。

さて、当町の議会構成が12人体制になつてはや2年を経過しましたが、その間、赤穂市、備前市を相手方とする定住自立構構想への参加や幼・小学校の統合、光ファイバーケーブルの整備など将来を見据えた重要な施策が進められてきました。

また、予算・決算審議や委員会審議等の際には、施策に対する提案や助言、事務執行状況の監視、重要施策の必要性や効果の見極めなど、議会の役割の一部である行政運営の土台部分への提言や方向の決定を行ってきました。

政権交代のあった国政においては、すべてが国家国民の繁栄、幸福の追求のため、日夜努力されているものと確信していますが、私たちのような小さな自治体においても、町議会が停滞することなく、日々、町の繁栄や町民の皆様の安心安全の確立、福祉の向上を最終目標として行動し、向かう先を決定していくなくてはなりません。

そのためには、議員は各地区、各層の町民の皆様のご意見を承り、誤りの無い結論となるよう十分な議論をしなくてはならず、また、私たちは、議員間の合意形成に向けた公平、公正な議会運営に努力していかなければならぬと肝に銘じているところでです。今後とも、町民の皆様の指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして就任の挨拶といたします。

各事務組合等の委員

播磨高原広域事務組合議会議員	阿部 昭 工藤 崇	沖 正治 山本守一	村上 昇
環境保全対策審議会委員	阿部 昭	田渕重幸	村上 昇
都市計画審議会委員	橋本正行	小寺政広	沖 正治
赤相農業共済事務組合議会議員	橋本正行	山本守一	
安室ダム水道用水供給企業団議会議員	小寺政広	山本守一	
にしありま環境事務組合議会議員	村上 昇	山本守一	

監査委員

監査委員は町の財政状況を点検し予算の使われ方の適否を調べ、その結果を公表する義務を負っている。

上郡町の監査委員は2名で、1名は議員のうちから選任される。

委員 阿部 昭

民生建設 常任委員会

当委員会の所管は、厚生・経済・土木・水道事業などで

現在の上郡町の課題は、人口減少と高齢化対策です。医療、福祉、外出支援の充実、また、災害復旧等関連緊急事業など町民の安全確保に充分に配慮し、乳児からお年寄りまでが「住んで良かった」と思われる、人にやさしい町づくりを目指していきます。

決算数値は、財政が健全であるかのように見えますが将来負担率が県下ワースト3であるなど実に厳しく、さらなる経費削減と公正で効率的な行政運営を強く要請しています。所管の行政全般と幼・小学校統合、学校給食、防災施策など進めるために、委員一同、研鑽を積み政策提言する委員会を目指します。

委員長 小寺 政広
副委員長 赤松 初夫

委員 阿部 昭
委員 沖 正治
委員 山本 守一
委員 大政 正明

千種川床上浸水対策 特別緊急事業 特別委員会

委員長 赤松 初夫
副委員長 大政 正明
他9名（議長を除く）

議会運営委員会

議会運営に関する事項や議長の諮問に関する事項などの調査を行うことが主な役割です。その他には議会が円滑、効率的な運営になるように行

政側等と調整を行なうなど「議会の裏方」的な存在でもあります。

非効率な議論を行なうことは避け、公平公正でスマーズな議会運営ができるよう、委員一同頑張っていきます。

委員長 橋本 正行
副委員長 田渕 重幸
委員 井口まさのり
委員 藤本ゆうき
委員 村上 昇
委員 工藤 崇
委員 村上 昇
委員 工藤 崇

広報調査 特別委員会

議会広報は議会から町民への窓口です。地方分権化が進み住民との協働が広がるなかで、議会にかかる情報を伝える広報の役割と責任はますます重くなっています。それを常に念頭に置き、議会の審議の過程・結果や議会に関連する事柄を客観的な立場から発信し、町民にわかり易く親しめる広報を発行することに努めます。

委員長 大政 正明
副委員長 橋本 正行
委員 赤松 初夫
委員 工藤 崇

委員長 橋本 正行
副委員長 田渕 重幸
委員 井口まさのり
委員 藤本ゆうき
委員 村上 昇
委員 工藤 崇
委員 村上 昇
委員 工藤 崇



▲ 広報委員会風景

郷土・伝統芸能まつり

一響き合う、海と里一

平成22年10月24日

赤穂市文化会館ハーモニーホール

東備西播定住自立構想推進事業

かみごおり
議会だより

No.75

平成22年11月15日発行

発行／兵庫県上郡町議会
編集／議会広報調査特別委員会



11団体出場

議会ホームページから
会議録がご覧になれます

町のホームページからアクセスできます。
(<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>)

傍聴へどうぞ!!
車イスもあります
次回は12月8日開会予定

これからも、私たち広報委員のモットーである「読みやすく、親しみやすい広報」の編集を目指し、委員一同頑張っていきますのでどうぞよろしくお願いします。

今年の異常とも言える夏の暑さでイライラされた方も、10月に入り平年並みの気温になって、少しは落ち着かれたのではないでしょうか。動物の生態が気候の乱れによって影響を受けたのか、当町でもクマが目撃されました。イノシシやシカならまだしも、クマとなれば生命の危機を感じてしまいます。

議会では、10月初旬の臨時会で正副議長を選出し、我々広報委員も新たなメンバーとなりました。先日の編集会議では、委員から、文章の表現や紙面割、掲載する写真についてさまざまな意見が出され、会議室は、さながら今年の日本列島のような熱気に覆われています。

編集後記